



富山県立山町 News Release

令和 8 年 9 月 30 日

送付枚数 3 枚（表紙含む）

立山町営バス予約型交通“ここノリ” 運行記念式を行います！

目的と概要	町では令和 8 年 10 月 13 日（火）から、AI を活用したデマンド交通である立山町営バス予約型交通“ここノリ”の運行を開始します。 このたび、運行開始に先立ち、関係者をお招きし、記念式典及び乗車体験会を行います。	
日 時	令和 8 年 10 月 9 日（金） 8：45～9：45（予定）	
場 所	立山町防災児童館複合施設「アカリエ」東側駐車場	
所在地	富山県中新川郡立山町前沢 2385 番地	
対象者・参加者	[来賓] 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部長、富山県議会議員、立山町議会議員、立山町区長会長 [その他招待者等] 立山町議会議員、ネッツトヨタ富山株式会社代表取締役社長、旭自動車株式会社代表取締役、アルペン交通株式会社代表取締役、立山交通合資会社代表社員 [立山町] 町長及び副町長 合計 21 人（予定）	
内容・次第など	(1) 式典（主催者挨拶、事業概要紹介、来賓祝辞、テープカット等） (2) 乗車体験会	 “ここノリ”ロゴマーク
特記事項	(1) 本事業は、国土交通省の「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクトの補助金を活用し実施するものです。 (2) 本事業は、本町が令和 7 年 12 月に作成した「立山町地域公共交通計画」において「重点事業」に位置付けたものであり、<u>本事業の趣旨にご賛同いただいた町内事業者である「共創パートナー（別紙参照）」</u>や集落・自治会、鉄道・路線バス事業者、タクシー事業者などの幅広い関係者と密に連携し、<u>「共に創る」サービスの実現を目指して取り組む「新たな共創型事業」</u>です。	
問	住民課環境安全係 担当 那智、浦田 Tel：076-462-9963	

事業者様の声・地域の声

地域の方から声がけを
頂くようになった。
停留所ができたので、
従業員も喜んでいる。

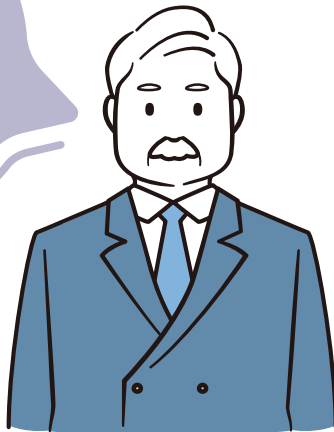
地域貢献の仕方が
分らなかったが、この取組
に参加でき感謝しています。
この取組を通じて、地域の
公共交通が少しでも便利に
なれば嬉しい。

乗車時に、乗り合わせ
た人と話せるのも
楽しみの一つ。明日は
どこへ行こうかしら。

車の運転に不安が
あったので、これを機
に免許を返納した。

娘から、子供の学校や
習い事の移動にも利用
でき、とても助かってい
ると聞いた。

お客さまが便利になれば
と思い、この取組に
参加した。お客さまからも
喜びの声を頂いている。



出かける際に、息子や
お嫁さんに送り迎えをし
てもらっていたが、
やはり気を遣う。
好きな時間にお出かけが
できるようになった。

立山町長からのメッセージ



“ちょうどいい”公共交通を創りたいー。 そのためには、あなたの力が必要です。

立山町では、“ちょうどいい”公共交通を目指しています。これを実現するためには、町だけではなく、皆さんのお力が必要です。

私が生まれた昭和40年頃に比べて、地鉄立山線五百石駅の乗降客数は5分の1になりました。クルマで通勤する人が増え、高校生が減少したことが主な原因と考えています。そのため、公共交通事業者におかれては、電車の車掌を配置しないなどの人件費の削減にも努めて来られました。しかし、もう一つの基幹的な交通インフラである路線バスは、近年の全国的な運転手不足により維持・継続することが難しくなってきました。

もちろん、町域が広く、住宅や事業所が点在している立山町では、地鉄立山線のみでは、交通インフラの完成形とは言えません。電車が幹線道路(幹)ならば、普通免許で運転できるワゴン車を生活道路(枝)として整備することによって、“ちょうどいい”町のかたちになると思っています。

事業者の皆様におかれましては、この機会に立山町における認知度アップのために、あるいは、従業員やお取引先の利便性を高めるために、公共交通を支えるチームの一員(パートナー)になることをご検討いただきますようお願い申し上げます。

立山町長 舟橋貴之

立山町営バス共創パートナー 募集中

最寄りの
バス停

から

行きたい
ところ

へ

町内の事業者の皆さまへ

立山町では、このたびの町営バスの運行体系見直しに伴い、「立山町営バス共創パートナー制度」を創設しました。この制度に対する皆さまからの温かいご支援を何とぞよろしくお願いいたします。

令和8年7月 立山町

教えて、 共創パートナー制度

共創パートナー
Q & A

どうして今回、町営バスを見直すの？

A. 町営バスは、住民の日常生活の足として必要不可欠なものです。しかし、年々コストは増え、利用者の数やドライバーの数は減っています。これらに対応するためには、今、サービス自体を持続可能なものに「柔軟に変えていく」ことが重要です。この秋から取り組むデマンド交通は、予約に応じてAⅠがルートを選択し運行するものです。これにより、利用者がいる便のみを運行できることとなります。また、詳しい乗降データなどを取得できることから、これを活用し運行をよりよいものに見直すこともできます。

共創パートナーってなあに？

A. 「立山町営バスを共に支える」という趣旨に賛同し、協賛金を納付いただいた事業者さまのことです。町では、協賛金の額に応じた広告特典をご用意(中面参照)しておりますので、この機会に是非ご検討ください。また、可能な範囲で、貴事業所の従業員の皆さまに対し公共交通での通勤を促すなど、公共交通の利用促進に向けた取組の実施についてもご検討いただければ幸いです。

立山町における公共交通の目指す姿とは？

A. 立山町では、以下の関係者による「共創」を軸とした“ちょうどいい”公共交通を目指します。

目指す姿

行政

- 公共交通サービスの情報提供・利用促進
- 関係者との調整

事業者

- 公共交通のイベントやまちづくりに参画
- 公共交通サービス維持への金銭面での支援

地域公共交通



交通事業者

- 地域で継続して公共交通サービスを提供

町民

- 積極的に公共交通を利用
- 公共交通のイベントやまちづくりに参画



立山町

<お問合せ>
住民課 環境安全係

Tel.076-462-9963 / Fax.076-464-1147
E-mail. jyuumin@town.tateyama.lg.jp

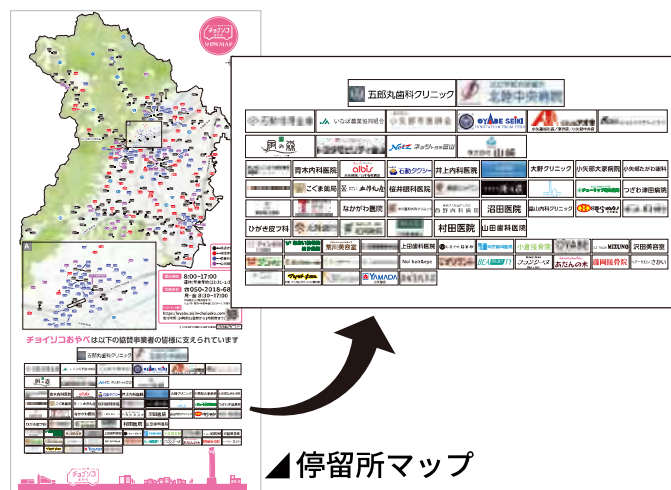
共創パートナープラン

町ホームページへの掲載



※イメージ

停留所マップへの広告掲載



▲停留所マップ

会報誌への広告掲載



車体へのマグネット型広告貼付



マグネットシート (縦 15 cm × 横 40 cm)

建物等への停留所設置・命名権付与



※左の写真のようなバス停標識 (独立式) の設置をご希望の場合は、別途費用が必要です。詳しくは住民課へお問い合わせください。

Normal
ノーマル

町ホームページへの掲載

12,000円/年

Bronze
ブロンズ

建物等への停留所設置・命名権付与

町ホームページへの掲載

36,000円/年

Silver
シルバー

停留所マップへの広告掲載

建物等への停留所設置・命名権付与

町ホームページへの掲載

60,000円/年

Gold
ゴールド

会報誌への広告掲載

停留所マップへの広告掲載

建物等への停留所設置・命名権付与

町ホームページへの掲載

120,000円/年

Platinum
プラチナ

車体へのマグネット型広告貼付

会報誌への広告掲載

停留所マップへの広告掲載

建物等への停留所設置・命名権付与

町ホームページへの掲載

360,000円/年